

お客様が教えてくれた、エステの魅力

「やってみようかな」と、興味本位で足を踏み入れたエステの仕事。今では自分でもおどろくほど、そのおもしろさに魅了されています。

私が美容に興味を持ったのは、母の仕事がきっかけです。美容部員だった母の影響で、家には化粧品や美容グッズがたくさんありました。仕事に行くためにバッチリと化粧をした母の姿も、また印象的で……。

中学生の頃には自分で化粧をすることも覚え、気がついたら、美容にのめり込んでいたんです。

20歳くらいになるとお肌をより気にかけるようになり、痩身エステにもよく通っていました。そうして通っていくうちに、ぼんやりと「自分にもできるのかな?」といった想いを抱くように。やがて就職先として意識するようになり、一社目のサロンへ入社したんです。

働いてみて知ったのは、痩身エステ特有のおもしろさでした。

この仕事は、いわばお客様との二人三脚です。

施術中のお客様にとって、私たちスタッフは一番身近な存在といえます。そのため、私たちはさまざまなコミュニケーションを通し、お客様と信頼関係を結んでいくんです。

そうやって紡がれていく人との関わりや、成果ができたときに聞けるお客さまの喜びの声。痩身エステだからこそ得られる楽しさに、私はどんどんと魅了されていきました。

しかし最初のサロンは分業制で、一人のお客様の対応を最初から最後まで受け持つことができませんでした。学ぶことはたくさんありましたが、それ以上に「一人のお客様に寄り添いたい」という想いが勝り、転職することに。

そうして辿り着いたのが、痩身エステ専門店のThe Slim Lineでした。

面接では「プロのエステティシャンとして、自信を持ってお客様と接することができるようになりたい」という私の夢を快く受け入れてくださり、スタッフとしての日々がスタートしたんです。

お客様へのご対応では、信頼関係を築くことを大切にしています。

かつて私は、エステの魅力をあまり実感できていませんでした。けれど、自分がエステティシャンとなってお客様と関わっていくうちに「エステサロンとは、自分をより魅力的にできる場所……ある意味、自分と向き合える場所ではないか」と考えるようになりました。

そんな魅力を伝えてくださったのは、ほかでもない、関わってくださったお客さま方なんです。

だからこそ、これから出会うお客様には、これまでに出会ったお客様に教わってきた「綺麗になる楽しさ」をお伝えしたい。そして美しさの先にある、自信が持てるようになる手助けをしたいんです。

お客さまの中には、お話をするのが好きな方もいれば、そうでない方もいらっしゃいます。

そのためそれぞれの方に寄り添い、「ここに来てよかった」と感じていただけるような接客を追求していきたいです。

当店の「女性を幸せに」という想いを胸に、これからも精進していきます。



The Philosophy of Yumezukuri Tohoku

人生に『夢』づくり、ゆめ溢れる『人』づくり

Nana Harako